

**令和5年度  
私費外国人留学生選抜  
看護学科  
小論文**

**問題・出題の意図・採点評価基準**

**令和5年1月22日**

**高知県立大学**

問 下の図は、令和元年11月1日～12月2日にかけて13歳から29歳までの男女を対象に内閣府が実施したインターネット調査(標本数10,000)の結果の一部で、居場所の数と自己認識の関係を示しています。居場所(いばしょ)とは、「その人が身を落ち着けていられる場所」<sup>1)</sup>のことです。この図から読み取れることを説明し、子供・若者が自己認識を高めるための居場所づくりについて、あなたの考えを800字以内の日本語で書いてください。

(配点150点)

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

図：居場所(自室、家庭、学校、地域、職場、インターネット空間)の数と自己認識の関係<sup>2)</sup>

出典：1) 山田忠雄他編、新明解国語辞典第八版、p.99、三省堂、2020

2) 内閣府 令和3年度版子供・若者白書 子供・若者インデックスボード I. 子供・若者の意識  
([https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r03honpen/pdf/index\\_1.pdf](https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r03honpen/pdf/index_1.pdf), 2022.6.28 アクセス)

出題の都合上、図を改変した。

<出題の意図>

図から居場所の数と自己認識の関係について読み取り、子供・若者が自己認識を高めるための居場所づくりについて解釈・分析した上で自身の考えを日本語で論述する文章表現力、論理的思考力をみる。

<採点評価基準>

特定の事象について、図を理解し、データをあげて妥当な結論を日本語で論述する文章表現力をみるとともに、看護学科で学ぶ上で必要な思考力、判断力、基礎的学力の観点から評価する。